

施工後のお手入れについてのお願い

強い衝撃を与えないで下さい。



浴槽にシャワーヘッドなど硬いものを落としたりぶつけたりすると塗膜の欠け、キズが生じる事があります。

熱湯を直接入れないで下さい。



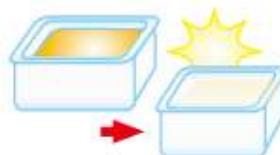
冷えきった浴槽に直接熱湯(80℃)を入れると、塗膜を痛めることがあります。先に水を少しためてからお湯を入れて下さい。

沸かし過ぎないようにして下さい。



沸かし過ぎを繰り返すと浴槽をいため寿命を短くします。

お湯はできるだけはったままにしないで下さい。



何日もお湯をはったままにしていると水垢がつきやすくなります。できるだけ毎日お湯をはり替えることが塗膜を綺麗な状態で長持ちさせるポイントです。

浴槽水浄化保湿装置(24時間風呂)について



浴槽水浄化保湿装置(24時間風呂)を継続してご使用になりますと塗膜表面の膨れ、荒れ、退色などの変化を生ずる可能性がありますのでご使用は避けて下さい。

入浴剤について



イオウ分を含む入浴剤や温泉水(温泉地で買ってきたようなもの)は使用しないで下さい。(スーパーで売られているものは可)その他の入浴剤は入浴剤の使用説明書をよく読んで正しくご使用下さい。

洗剤について

酸・アルカリ性
粉末クレンザー



柔らかい布かスポンジに「中性」の表示のある浴槽用洗剤をつけて洗って下さい。その後、乾いた布で水分をふき取って下さい。「酸性」「アルカリ性」の表示のある洗剤およびたわし、粉末クレンザーなどは塗膜を傷つけますので絶対に使用しないで下さい。

毛染め液について



毛染液、ヘアマニキュアなどを付着したままにしないで下さい。毛染液、ヘアマニキュアなどを長時間付着したまま放置すると変色の原因になります。万一付着した場合はすぐに洗剤で洗い流して下さい。

金属石鹸について

浴槽に白い汚れが付着することがあります。これは『金属石けん』と呼ばれる、石けん分や身体の脂肪分が水中に含まれるカルシウムなど金属成分と反応してできたものです。いったん付着すると化学的には落とせません。日ごろからこまめにお手入れをして下さい。

万一、付着した場合は早めに歯磨き粉もしくは液体用クレンザーを布につけて根気よくこすり落として下さい。